

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-011007
(43)Date of publication of application : 16.01.1998

(51)Int.Cl. G09F 27/00
G06F 13/00

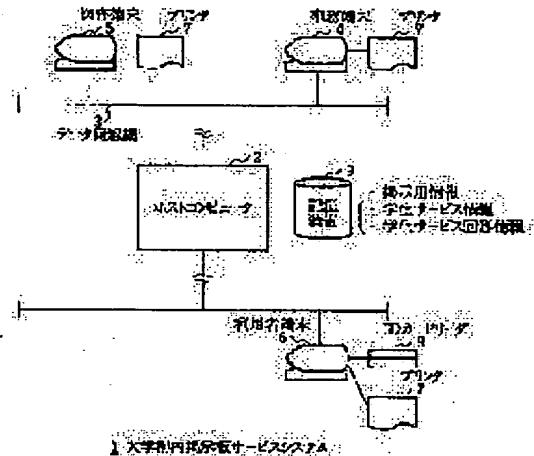
(21)Application number : 08-165892 (71)Applicant : NEC CORP
(22)Date of filing : 26.06.1996 (72)Inventor : KAZAMA DAISUKE

(54) IN-CAMPUS BULLETIN BOARD SERVICE SYSTEM

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To computerize, simplify, and speed up office work by connecting office terminals and library terminals to a host computer and the host computer to terminals in terminal rooms and laboratories and user terminals.

SOLUTION: Through an office terminal 4, a university staff registers bulletin information of the university such as class cancellation information and timetable information to be displayed on bulletin boards in the campus in the host computer 2, processes student services such as certificate issue requesting and facility use reservation from users, and registers answer information in the host computer 2. At this time, process results can be printed out on a printer 7. Further, a library terminal 5 is used by a librarian of the library to register newly-published book information and return deferrer information in the host computer 2, and processes and answers for student services such as book loaning reservation. User terminals are installed at several places in the terminal rooms, laboratories, and the campus for students and pursuers to obtain bulletin information, and register student services and obtain answers.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 26.06.1996

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 30.03.1999

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-11007

(43)公開日 平成10年(1998)1月16日

(51)Int.Cl.⁶
G 0 9 F 27/00
G 0 6 F 13/00

識別記号
3 5 1

府内整理番号

F I
G 0 9 F 27/00
G 0 6 F 13/00

技術表示箇所
E
3 5 1 G

審査請求 有 請求項の数2 OL (全4頁)

(21)出願番号 特願平8-165892

(22)出願日 平成8年(1996)6月26日

(71)出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

(72)発明者 風間 大輔

東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

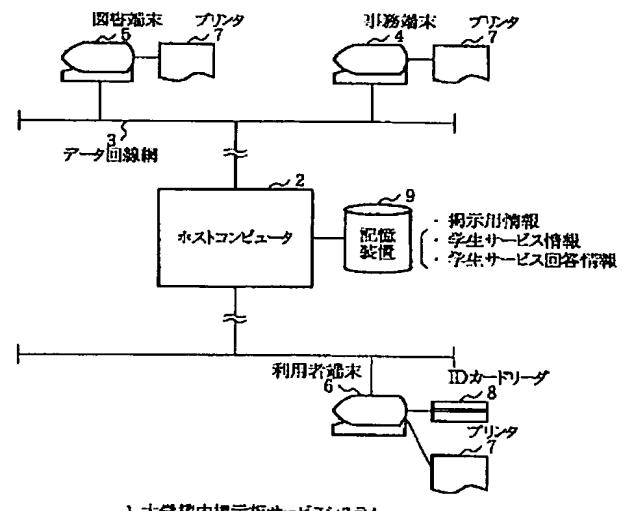
(74)代理人 弁理士 京本 直樹 (外2名)

(54)【発明の名称】 大学構内掲示板サービスシステム

(57)【要約】

【課題】個々の学生から見ると自分の必要とする情報を双方向で容易に得ることと、事務作業のコンピュータ化、簡略化、高速化を進めることで、大学事務担当あるいは図書館の業務の集中を軽減すること。

【解決手段】本発明の大学構内掲示板サービスシステム1は、各種情報を記憶装置9に蓄積し掲示用情報として出力するホストコンピュータ2と、ホストコンピュータ2と大学構内に付設されたデータ回線網3を介して接続し、各種掲示用情報を入力し利用者の要求を受付ける事務端末4および図書端末5と、利用者が使用し掲示用情報の取得と掲示用情報に含まれる各種サービスの要求と登録と予約とこれらの入力に対応する回答とを表示し出力する利用者端末6とを備える。また、事務端末4、図書端末5、利用者端末6は、それぞれ受信した情報を表示するディスプレイを含み、情報を印刷出力するプリンタ7を接続している。



1 大学構内掲示板サービスシステム

【特許請求の範囲】

【請求項1】 各種情報を蓄積し掲示用情報として出力するホストコンピュータと、このホストコンピュータと大学構内に付設されたデータ回線網を介して接続し、前記掲示用情報を入力あるいは受信して表示し、前記掲示用情報に含まれる各種サービスの要求と任意の情報の入力および出力とを行う複数の端末とからなる大学構内掲示板サービスシステムにおいて、前記端末として各種掲示用情報を入力し利用者の要求を受付ける事務端末および図書端末と、前記利用者が使用し前記掲示用情報の取得と前記掲示用情報に含まれる各種サービスの要求と登録と予約とこれらの入力に対応する回答とを表示し出力する利用者端末とを備えることを特徴とする大学構内掲示板サービスシステム。

【請求項2】 利用者端末は利用者識別用カード読取装置を有することを特徴とする請求項1記載の大学構内掲示板サービスシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は大学構内掲示板サービスシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、大学構内で、学生に各種の情報を通知する方法としては、事務職員が必要事項を紙に書き、掲示板に貼ることが行われている。また、学生が各種のサービスを請求あるいは登録する場合には、事務担当あるいは図書館の司書に書類を提出するようになっている。最近では、コンピュータ端末を利用した電子掲示板も使用されており、このときの電子掲示板の使用方法としては、従来の掲示板と同様に、表示されているものを読み取ることを主眼としたものである。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 上述した従来の大学構内掲示板サービスは、事務職員が必要事項を紙に書き、掲示板に貼ることで行われていたり、コンピュータ端末を利用した電子掲示板も使用されているが、いずれの方法であっても、表示されているものを読み取ることを主眼としたものであるため、個々の学生から見ると自分の必要とする情報を得るには、不要のものを含めて多くの書類を読みなければならないという問題点がある。また、学生が各種のサービスを請求あるいは登録する場合には、事務室窓口あるいは図書館受付けまで受付け窓口の開いてる時間に出向く、大学事務担当あるいは図書館の司書に書類を提出する必要があるので、特定の時期には各受付け窓口が混雑するので、大学事務担当あるいは図書館の司書の業務が激増するという問題点もある。

【0004】 本発明の目的は、個々の学生から見ると自分の必要とする情報を双方向で容易に得ることができ、事務作業のコンピュータ化、簡略化、高速化を進めることで、大学事務担当あるいは図書館の司書の業務の集中

を軽減することができる大学構内掲示板サービスシステムを提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】 本発明の大学構内掲示板サービスシステムは、各種情報を蓄積し掲示用情報として出力するホストコンピュータと、このホストコンピュータと大学構内に付設されたデータ回線網を介して接続し、前記掲示用情報を入力あるいは受信して表示し、前記掲示用情報に含まれる各種サービスの要求と任意の情報の入力および出力とを行う複数の端末とからなる大学構内掲示板サービスシステムにおいて、前記端末として各種掲示用情報を入力し利用者の要求を受付ける事務端末および図書端末と、前記利用者が使用し前記掲示用情報の取得と前記掲示用情報に含まれる各種サービスの要求と登録と予約とこれらの入力に対応する回答とを表示し出力する利用者端末とを備えることを特徴とする大学構内掲示板サービスシステム。

10 【0006】 本発明の大学構内掲示板サービスシステムは、利用者端末は利用者識別用カード読取装置を有してもよい。

20 【0007】 【作用】 本発明は、事務端末および図書端末とホストコンピュータ、ホストコンピュータと端末室・研究室の端末および利用者端末とを接続し、事務端末および図書端末からホストコンピュータに、掲示板に掲示するような情報を登録し、この情報を端末室・研究室の端末および利用者端末で取得し、プリンタ出力するものである。また、情報を端末室・研究室の端末および利用者端末からホストコンピュータに、学生サービス情報（例えば図書貸出予約、証明書発行請求等）を登録し、この学生サービス情報を事務端末および図書端末で処理し、回答を情報として、再びホストコンピュータに登録する。利用者は、端末室・研究室の端末および利用者端末から、回答情報を取得することができる。端末から情報を取得したりサービスする場合には、IDカードによって取得情報とサービスに制限をつけることもできる。

【0008】

【発明の実施の形態】 次に、本発明の実施の形態について図面を参照して説明する。

30 【0009】 図1は本発明の第1の実施の形態を示すブロック図である。

40 【0010】 本発明の大学構内掲示板サービスシステム1は、各種情報を記憶装置9に蓄積し掲示用情報として出力するホストコンピュータ2と、ホストコンピュータ2と大学構内に付設されたデータ回線網3を介して接続し、各種掲示用情報を入力し利用者の要求を受付ける事務端末4および図書端末5と、利用者が使用し掲示用情報の取得と掲示用情報に含まれる各種サービスの要求と登録と予約とこれらの入力に対応する回答とを表示し出力する利用者端末6とを備える。また、事務端末4および図書端末5と利用者端末6とには、それぞれ受信した情報を可視表示するディスプレイを含み、外部出力装置

として情報を印刷出力するプリンタ7を接続している。さらに、利用者端末6には、IDカードリーダ8を付加してある。

【0011】次に各端末およびホストコンピュータの機能および動作について説明する。

【0012】事務端末4は、大学事務担当が、学内の掲示板に表示する休講情報や時間割情報等の学内の掲示情報をホストコンピュータ2に登録したり、利用者からの証明書要求や施設利用予約等の学生サービスを処理し、回答情報をホストコンピュータ2に登録する。このとき、プリンタ7により処理結果を印字出力することができる。図書端末5は、図書館の司書が、新刊情報や返却遅延者情報のホストコンピュータ2への登録や、図書貸出予約等の学生サービスの処理回答を行う。利用者端末6は、端末室や研究室あるいは学内の数個所に設置され、学生や研究者が掲示情報を取得したり、学生サービスを登録し回答を取得する。また、利用者端末6には、IDカードリーダ8を付加しておき、利用者ごとに入学時に貸与されるIDカードによって特定の学部・学科または個人の情報だけを取得できるよう制限する。これにより、データのセキュリティを確保する。ホストコンピュータ2は、掲示情報や学生サービス情報をデータベースとして保存しておく。また、ホストコンピュータ2は、事務端末4および図書端末5と利用者端末6とのアクセスを受けると、データベース内のデータを送信したり、処理したデータを更新したり、予めデータに付随している期日を超えるとそのデータを消去するといった処理を行う。

【0013】次に掲示情報参照の動作について説明する。

【0014】図2は掲示情報サービスを説明するための流れ図である。説明には図1の名称と符号とを使用する。

【0015】掲示情報としては、休講情報、学内報、テスト時間割情報、時間割情報、図書期限超過警告情報等があるが、ここでは休講情報を例にとって説明する。

【0016】まず、大学事務担当が、ステップ(以下Sと記す)1で事務端末4からホストコンピュータ2のデータベースに、期限付の休講情報を登録していく。次に、利用者である学生が、自己のIDカードをIDカードリーダ8に通し、ホストコンピュータ2にアクセスする。ホストコンピュータ2では、IDカードリーダ8が読み取ったIDカード内の、学生の学部および学科コードにより、S2で掲示情報の範囲を確定してこの学生に必要な休講情報を抽出し、S3でこの休講情報を利用者端末6のディスプレイやプリンタ7に出力する。なお、ホストコンピュータ2内のデータは、S4で登録時に付けた掲示期日を過ぎると破棄される。以上の動作を、それぞれがリアルタイムに行うことにより、最新の情報を必要なときに必要なだけ参照することができる。

【0017】次に学生サービスの動作について説明する。

【0018】図3は学生サービスを説明するための流れ図である。説明には図2の場合と同様に図1の名称と符号とを使用する。

【0019】学生サービスには、証明書/学割発行要求、健康診断の通知、履修届申請/確認、施設利用予約、図書貸出予約等があり、ここでは施設利用予約を例にとり説明する。

10 【0020】まず、施設利用予約を希望する学生が、自己のIDカードをIDカードリーダ8に通し、ホストコンピュータ2にアクセスし、利用者端末6から施設利用予約の登録を行う。ホストコンピュータ2では、S5でIDカードリーダ8が読み取ったIDカード内の、学生の学籍番号その他のデータから、この学生の要求を受理可能か否かを判別する。受理可能であれば、S6で学生サービスへの予約登録を行い、続いて、S7で施設利用予約処理を行う事務端末4のプリンタに、該当の学生の施設利用予約を、学生の学籍番号その他のデータと共に出力する。この出力されたデータを見た大学事務担当は、事務端末4からホストコンピュータ2にアクセスし、現在の施設利用予約登録状況を確認した上で利用可とするか不可とするかを判定し、S8でこの判定結果を回答情報として登録する。施設利用予約を希望した学生は、任意の時間が経過した後、自己のIDカードをIDカードリーダ8に通してホストコンピュータ2にアクセスし、利用者端末6から施設利用の可能/不可能の確認を行う。ホストコンピュータ2では、S9でIDカードリーダ8が読み取ったIDカード内の、学生の学籍番号その他のデータから、この学生の要求に対して情報の提供が可能か否かを判別し、対応可能であれば、S10で回答情報を利用者端末6のディスプレイに表示し、利用者の要求でプリンタ7から回答情報を出力する。このように処理することにより、窓口での業務が減少し、作業効率が向上すると共に、学生も任意のあき時間に、最寄の利用者端末6から施設利用の可能/不可能の確認を行うことが可能となるので、非常に便利になる。

【0021】

【発明の効果】以上説明したように、本発明は、事務端末および図書端末とホストコンピュータ、ホストコンピュータと端末室・研究室の端末および利用者端末とを接続し、事務端末および図書端末からホストコンピュータに、掲示板に掲示するような情報を登録したり、学生サービス情報(例えば図書貸出予約、証明書発行請求等)を登録し、この学生サービス情報を事務端末および図書端末で処理し、回答を情報として、再びホストコンピュータに登録するようにしたので、利用者は、端末室・研究室の端末および利用者端末から、回答情報を取得することができ、端末から情報を取得したりサービスする場合には、IDカードによって取得情報とサービスに制限

をつけるので、個々の学生から見ると自分の必要とする情報を双方向で容易に得ることができ、事務作業のコンピュータ化、簡略化、高速化を進めることで、大学事務担当あるいは図書館の司書の業務の集中を軽減することができるという効果が有る。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1の実施の形態を示すブロック図である。

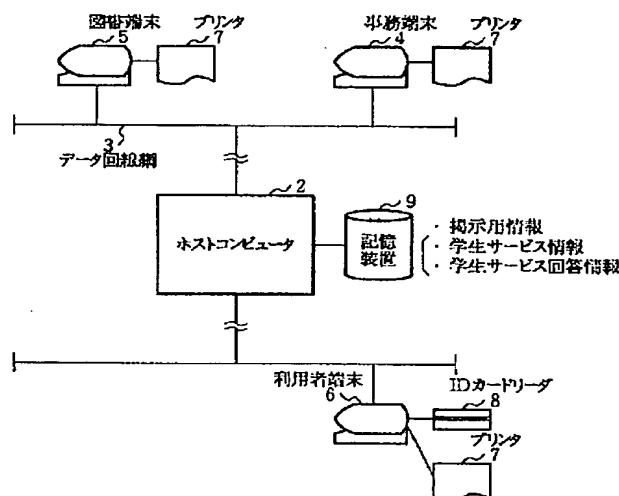
【図2】掲示情報サービスを説明するための流れ図である。

【図3】学生サービスを説明するための流れ図である。

【符号の説明】

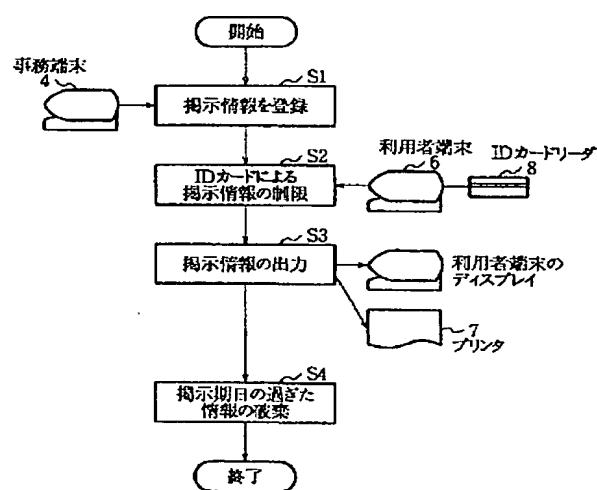
1	大学構内掲示板サービスシステム
2	ホストコンピュータ
3	データ回線網
4	事務端末
5	図書端末
6	利用者端末
7	プリンタ
8	IDカードリーダ
9	記憶装置
10	掲示用情報 学生サービス情報 学生サービス回答情報

【図1】



】大学構内掲示板サービスシステム

【図2】



【図3】

